

令和6年度 5年生

絆～きずな～新聞

暑さに負けず、頑張っています！

田植えに挑戦！

自然教室から帰ってきて休む間もなく様々な活動をしている子どもたち。総合的な学習の時間では、米作りに挑戦します。校庭の隅に所狭しと作った稲小の田んぼ。休み時間や放課後に有志が集まってくれた子たちと草抜きから始まり、どろどろになりながら、代かきを行いました。

そして、地域の芹澤さんの協力のもと、学年全員で田植えを行いました。田んぼに足を入れる感触や稲を植える難しさなどを感じながら、一人一人が活動することができました。



2年生と交流会！

毎年、異学年と交流の機会を設けている稲田小学校。5年生は、今年度2年生とペアになっています。

先日、第1回目の交流会が開かれました。実行委員が企画・運営を担い、2年生とじゃんけん列車をして楽しみました。モジュールの15分間という短い時間でしたが、たくさんの笑顔を見ることができました。今後も様々なカタチで交流できたらと考えています。

【人生芸夢】～光岡の気まぐれコラム～

「ガタガタ」「ブルブル」毎年、水泳の授業で見られる子どもたちの様子です。いつも暑いのになぜかプールに入るときは少し寒くなる…しかし、今年は違いました。子どもたちは、「ギラギラ」と焼けつけるような日差しの下で「すいすい」と水の中を泳いでいます。寒くない水泳の授業を「きらきら」とした瞳で楽しむ子どもたちでした。

さて、先ほどから「どんどん」と、かぎかっこを使って表した表現に気付きましたか？『オノマトペ』と呼ばれる擬態語、擬音語です。実は、外国語と比べ、日本語にはこのオノマトペが桁違いに多いそうです。英語などは数百種ほどだが、日本語のオノマトペは、数千種。しかも、「ぴえん」や「ゆるかわ」など、新しいオノマトペが続々と増えているらしい。

「人が歩く」「人がてくてく歩く」使わなくても意味が通じるオノマトペ。しかし、使うと伝えたい様子が良く伝わります。オノマトペには、多くの意味が含まれていて、様々な様子を的確に表すことができます。知れば知るほど面白い日本語について、夏休みに研究してみるのはいかがでしょうか？